



### 3. 活動内容

(1) 1年間の主な活動内容について記載願います。

#### ■実践内容① 5月～3月

【ねらい】野菜の栽培体験を通して、気付きを伝え合いながら植物の生長を楽しみに世話をする

【活動内容】学年ごとに身近な場所で野菜作りをし、子どもたちが野菜の生長を感じたり興味・関心をもって世話をしたりできるようにしている。

5歳児は、1学期に夏野菜を種から育て、そのうち1種類は『秘密の種』として名前を知らせず育てた。生長の過程で、子どもたちは驚きや発見など様々な気付きを言葉や絵で表現していたので、教師も生長の様子を写真や絵で分かりやすく表示した。2学期には、国際ESDセンターの先生方のアドバイスを受け、秋まき野菜の『生長カレンダー作り』に取り組んだ。当初は、B紙に写真を貼ったり子どもが気付いたことを自由に書き入れたりする簡単なものだったが、センターの先生方から、文字の書けない幼児でも気軽に表現できるように、教師がつぶやきを代筆したり幼児が調べた内容を一緒に掲示したりするとよいことを教えていただき、幼児が参加しやすいよう工夫した。また、カレンダーの表示を下から上へ生長に合わせて書き加えていくようにすることで、生長の喜びを感じられるようにした。3学期には、進級や小学校入学に期待をもってクロッカスやチューリップを育てている。

【成果】野菜の栽培では、何の種かあえて知らせず子どもたちと命名して育てたことで、種まきから収穫まで関心をもって世話をすることができた。また、カレンダー作りでは、子どもたちが絵やコメント等で自由に表現し参加できるよう工夫したことで、小さな変化を伝え合い、気付きを深めることができた。

#### ■実践内容② 4月～3月

【ねらい】地域の自然に触れながら、自然への興味・関心を深めたり、不思議さを感じたりする

【活動内容】

神の倉幼稚園の近くには、手付かずの自然がそのまま残っている「熊野社」がある。5歳児は年に5回熊野社へ散歩に出掛け、季節の移り変わりや季節ごとの自然を、諸感覚を通して感じる直接体験を重ねている。4歳児は3月に出掛ける。

春：桜の下で花見をしながら弁当を食べたり、舞い散る花びらを追いかけてたりして桜の美しさを実感した。

秋：紅葉を見たり落ち葉やドングリ、木の実等を拾ったりして、秋の自然に親しんだ。環境カウンセラーを講師に迎え、現地で諸感覚を十分に働かせ、季節の変化や様々な事象に気付いたりかかわったりすることができるような指導を受けた。

冬：春の訪れを探しながら、これまでの熊野社の様子を思い出したり、身近な自然も変化しながら1年を過ごしていることを知ったりして、身の回りの自然や生物の生命力を感じた。

【成果】1年間の取り組みで、身近な草花や木の実、虫などへの関心が深まり、友達と名前や生態を調べたり、ごっこ遊びや製作の材料に取り入れたりする姿が増えた。ワクワクとする感動体験が幼児の好奇心や探究心の育ちにつながった。

(2) 活動時間について（下記から選択して下さい。）

- 通常の授業時間を使用（総合的な学習の時間を含む）
- 時間外活動の時間を使用
- ユネスコクラブの活動として実施
- その他（

）